

令和5年度 第3回 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会（概要）

日時 令和6年3月21日（木）

18:30～20:30

1 モデルケースの経過報告

令和6年1月から取組を始めている、軟式野球部におけるスポ少ソフトボール部指導者によるモデル事業の経過を報告し、情報交換を行った。指導にあたってくださっている指導者にも出席していただき、取り組んでみての思いや浮かんできた課題を報告し、委員からの質問を受けた。練習日程や保険、鍵等の管理について、今後の取組を進める上での課題が見えてきた。

2 教育委員会の取組

中学校の顧問の確保のため「部活動指導員」の一般公募について説明し、町内外を問わず一般公募を行い、中学校の希望とマッチングしていく方針を説明した。できるだけ多くの方に入っていただくためにも心当たりのある方に声掛けをしていただい旨の説明があった。また、スポーツ安全協会の「令和6年度スポーツ活動等普及奨励事業」の助成金等を活用し、モデル事業を進めていく。

3 事務局より説明

鏡野町の新HPに掲載する内容の確認の後、岡山県保健体育課とスポーツ振興課が開催した研修会の報告を事務局から行い、国や県の取組や動向をお知らせした。県が「新たな地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン」を作成し、地域移行を一層推進していくことを報告した。

4 中学校吹奏楽部の提案

中学校から、吹奏楽部の地域移行をめざした取組の提案があり、協議を行った。部員が文化協会の団員として登録することや文化協会との協議、承認を求めると等の説明の後、2つめのモデルケースとして取組をすすめ、課題を探っていくことを検討委員会として承認した。

5 令和6年度の方向性の確認

本年度、3回の検討委員会を開催したが、この1年間の取組を整理した上で、来年度に向けた取組の方向を検討した。部活動指導員をできるだけ確保していきつつ、地域移行の道筋を探っていくことをめざし、検討を進めていく。